

01 目的

味の素グループは事業を通じて、世界の食と健康、そして明日のよりよい生活に最大限貢献できるよう、社員のこころとからだの健康を維持・増進できる職場環境づくりを推進しているため。

02 課題・目標

健康経営で解決したい経営上の課題と効果



課題：① 従業員のパフォーマンス向上

健康経営で解決したい経営上の課題	「食と健康の課題解決」に向け、社会的価値と経済的価値を共創するASVの実践を通じて自ら成長を実感し、顧客価値への貢献を「働きがい」とする人材・組織づくり。
健康経営の実施により期待する効果	従業員とその家族の健康が最も重要な経営基盤の一つと考え、「職場の栄養改善」や、セルフ・ケアの施策を展開。従業員やその家族がこころとからだの健康を維持・増進できれば、従業員のパフォーマンス向上につながる。

自社従業員(組織)の課題と目標



●重点課題1



⑭メンタルヘルス不調等のストレス関連疾患の発生予防・早期発見・対応に関する課題

課題内容
コロナ禍の長期化やテレワーク中心の業務遂行でのストレスにより、健康リスクを高める恐れがあった。それを予防しセルフ・ケア維持向上させ必要な健康行動レベルが保持できるようにすることが最大の課題であった。また、引続き休業から復職後の就業継続率の良好水準の維持も課題。

目標

メンタル休業後の3年就業継続率		
	数値	年度
目標値	前年度より改善することを目標としている	

●重点課題2



⑩生活習慣改善(運動・睡眠・食生活等)に関する従業員の課題

課題内容
「食と健康の課題解決企業」を掲げ、「職場の栄養改善」を重点取り組みとしている中、更なる深耕が必要であり、また新常态下では生活習慣病リスクの増加が懸念されるため、主要健診6項目のデータ改善を目的に、セルフ・ケアの向上と個人の生活習慣を踏まえた行動変容の強化が必要。

目標

主要健診2項目のリスク割合の減少		
	数値	年度
目標値	前年度より改善することを目標としている	

04 健康経営の成果

経営上の課題に対する健康経営の成果

従業員を対象として、毎年実施するエンゲージメントサーベイの健康/Well-beingの好意的回答スコア(満点100)を高水準で維持することを目標としている。2021年度は84(前年度82)で、健康経営の取り組みが評価され、従業員のパフォーマンス向上にも貢献している。

03 施策・実績

健康経営の取り組み

●施策内容<重点課題1>



「メンタルヘルス回復及び再就業支援プログラム」

メンタル休業後の3年就業継続率

	数値	年度
取組前実績値	80%	2019
現在の実績値	80%	2021

具体的な実践内容1

分類	自社組織
名称	メンタルヘルス回復及び再就業支援プログラム
内容	休業者が、自分の「価値観と本来の生きがい」を認識し、ストレスとうまく付き合うことで、なんとか働ける状態ではなく、イキイキと働ける状態を目指す支援プログラム
導入時期	2008年完成
評価(定量・定性)	●メンタル休業後3年を経過している就業継続率は80.0%。 ●J-ECOHスタディ3年就業継続率61.6%の報告と比較しても良好。

具体的な実践内容4

分類	自社サービス
名称	適正糖質セミナー
内容	—
導入時期	—
評価(定量・定性)	●食後血糖を自己採取(集合セミナー時)し、血糖値スパイクのリスクを認識させ、適正糖質コントロール法を紹介する食事指導セミナー ●参加者の8割以上が、セミナー後3ヶ月過ぎても行動変容が継続。参加者の25%以上が、今後のデータ改善につながる効果を実感。

具体的な実践内容5

分類	外部サービス
名称	カロママプラス
提供元社名	株式会社リンクアンドコミュニケーション
内容	L&C社が提供する健康アドバイスアプリ
導入時期	2018年
選択理由	●機能・性能 ●使いやすさ ●実績 ●サービス・製品の可能性
評価(定量・定性)	●日々のライフログデータを入力することで、タイムラインで健康アドバイスが得られ、セルフ・ケアの維持向上に貢献 ●目的別に利用者の健康ニーズにあわせて10コースの中から選択可能。他の健康アドバイスアプリより、利用者の入力負担が少ない。 ●BtoBtoEをメインとしているため、多くの企業・法人・健康保険組合等で採用されている。 ●企業カスタマイズに柔軟に対応可能。

具体的な実践内容6

分類	自社組織
名称	MyHealthランチ
内容	当社社員食堂で提供する「おいしく食べて健康にプラス」となるランチ標準的な栄養バランスを満たす(段階的に減塩)と同時に、「おいしくたのしい」「満足感」を満たすメニュー。
導入時期	2018年
評価(定量・定性)	●コロナ禍だが、「ラブベジ®」プロジェクト(野菜喫食促進の当社企画)と連動して従業員参加型で施策強化。塩分量も3.0g以下に今年度は設定し、自然と健康になるように導いている。

取り組みにおける課題や困っていること

実施している施策の課題	●更なる行動変容につながる施策展開 ●戦略マップで明記した項目間での、定量的/定性的な相関関係の更なる明確化
今後取り組みたい施策の課題	●他社とコラボしての健康経営の更なる高度化

●施策内容<重点課題2>



- 「全従業員対象の全員面談」
- 「総合健康管理システム」
- 「定期健康診断の新展開」
- 「生活習慣病予防の食事指導セミナー」
- 「健康アプリ内での社食連動施策」
- 「社食での健康メニュー提供」

主要健診2項目のリスク割合の減少

	数値	年度
取組前実績値	糖代謝異常者 22.9% 血圧有所見者 10.0%	2017
現在の実績値	糖代謝異常者 16.0% 血圧有所見者 7.3%	2021

※糖代謝異常者:HbA1c≥5.6、血圧有所見者:収縮期≥140or拡張期≥90
※適正糖質セミナーは2018年度より展開、健診戦は2020年度より展開

具体的な実践内容1

分類	自社組織
名称	全員面談
内容	セルフ・ケアを支援するための、健康診断後の個別全員面談
導入時期	2001年
評価(定量・定性)	●セルフ・ケアの向上、疾病の早期発見・早期予防、自覚のない不調の発見・対応、社員との信頼関係の構築、各種有所見率の改善がはかれる。

具体的な実践内容2

分類	外部サービス
名称	総合健康管理システム
提供元社名	NTTテクノクロス株式会社
内容	健康管理業務を幅広くカバー。各種健診、ストレスチェックのデータを一元管理。業務にあわせてカスタマイズが可能、このDBからMyHealthにデータ提供。
導入時期	2018年度
選択理由	●機能・性能 ●実績 ●サービス・製品の可能性
評価(定量・定性)	●健康に関する情報を一元管理。このDBから個人向けの健康webサイトである「MyHealth」にデータ提供。従業員が自分の健康状態をPC上で一元的に把握するのに貢献。 ●健診の準備から実施管理まで対応。個人健康管理と集計、アンケート機能あり。オプションとしてストレスチェックにも対応。 ●全国展開している大手企業に多数導入実績あり。 ●業務にあわせてカスタマイズが可能。

具体的な実践内容3

分類	外部サービス
名称	健診戦
提供元社名	博報堂DYグループ
内容	定期健康診断を活性化する施策
導入時期	2020年度
選択理由	●サービス・製品の可能性
評価(定量・定性)	●健診参加者の方が非参加者に比べ、健康改善率が有意に高い。生活改善意識(特に無関心層)は、健診戦の参加と関係があった ●マンネリ化した「定期健康診断」を、本年度と昨年度を診断結果の「健康改善度」で可視化し、この1年で特に健康維持・増進をした従業員を表彰するヘルスエンターテイメントは、セルフ・ケア促進の重要な施策となっている。また、健診戦結果を健康タイプ別に分類可能。